



---

---

# AT-TQ2401 リリースノート

---

この度は、AT-TQ2401 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、マニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ファームウェアバージョン 1.0.1

---

## 2 本バージョンで修正された項目

---

ファームウェアバージョン 1.0.0 から 1.0.1 へのバージョンアップには、以下の項目が修正されました。

- 2.1 「セキュリティ」が「WPA エンタープライズ」または「WPA パーソナル」に設定されているとき、無線クライアントのローミングが頻繁に発生すると、一部の無線クライアントにおいて本製品の LAN 側からの MAC ブロードキャスト / マルチキャストフレームが受信できなくなり、通信不能となることがありましたが、これを修正しました。
- 2.2 ファームウェアのアップグレード時にレポートすることがありましたが、これを修正しました。

## 3 本バージョンでの制限事項

---

ファームウェアバージョン 1.0.1 には、以下の制限事項があります。

### 3.1 本製品のご使用にあたって

---

- 本製品の Web 設定には、必ず Microsoft Internet Explorer Version 6 または 7 をご使用ください。  
なお、IE6 は 2014 年 4 月 9 日にマイクロソフト社のサポートが終了していますので、IE7 をご使用いただくことを推奨します。
- 本製品の起動中は、ネットワークの使用をお控えください。本製品がトラフィックを受信している場合、起動しないことがあります。


### 3.2 ローミング

---

ローミングが発生して無線クライアントが他のアクセスポイントに接続した後、再度ローミングが発生してその無線クライアントが元のアクセスポイントに再接続すると、その無線クライアントは最初にローミングしたアクセスポイントに接続している他の無線クライアントと、最長で 5 分間通信ができなくなります。

---


### 3.3 イーサネット設定

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「イーサネット設定」](#)

「イーサネット設定」画面で管理用コンピューターの設定をはじめて行う際に、「管理用コンピューターの設定」が無効にも関わらず「管理用コンピューターの IP アドレス」の設定ができてしまいます。ただし、「管理用コンピューターの設定」を有効にしない限り、管理用コンピューターの限定は行われません。

---

### 3.4 無線

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「無線」](#)

- 「無線」画面の「モード」で「IEEE 802.11b」または「IEEE 802.11g」を選択し、「ステータス」を「オフ」にして電源を入れ直すと、「ステータス」の「インターフェース」画面の「無線 LAN 設定」の「チャンネル」が正しく表示されません。
- 「バースト時の速度制限」に「速度制限」で設定した値以下の値を設定できてしまいます。

---

### 3.5 ユーザー管理

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ユーザー管理」](#)

ASCII 以外の文字コードを含むユーザー情報は編集できません。

---

### 3.6 イベント

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ステータス」](#) / [「イベント」](#)

DFS によるチャンネル変更の際に、誤ったチャンネル番号がはいったフレームを送信することがあります。また、「イベント」ページに誤ったチャンネル変更通知のログが表示されます。

---

### 3.7 送信 / 受信

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ステータス」](#) / [「送信 / 受信」](#)

「送信 / 受信」画面で表示されるスループットの値が正しくありません。

---

### 3.8 PING

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「PING」](#)

「PING」画面で、「実行」ボタンをクリックすると PING が実行されボタンが「停止」になりますが、「停止」ボタンをクリックしても PING は停止しません。

---

### 3.9 ファームウェアのアップグレード / ダウングレード

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「アップグレード」](#)

**重要**：アップグレードやダウングレード中は、本製品の無線機能が停止します。アップグレードやダウングレードは、必ず有線 LAN ポートに接続したコンピューターから実行してください。


また、アップグレードやダウングレード中は、本製品の Web 設定画面へのアクセスや、有線 LAN ポートへのトラフィック流入をできるだけ避けてください。アップグレードやダウングレードに失敗するだけでなく、本製品が起動できなくなる可能性があります。

- ルーター経由でファームウェア更新を行うと、動作状況を把握できなくなる場合がありますが、約 4 分後にはファームウェアが更新され正常に起動します。設定を続ける場合は、再度本製品の Web 設定画面に接続してください。
- ファームウェアのアップグレードやダウングレードにおいて、ファームウェアファイル転送中に、UTP ケーブルが抜けるなどの外的要因によりタイムアウトが発生すると、再度 UTP ケーブルの接続しても Web 設定画面にアクセスできなくなります。その場合は、電源のオフ、オンによる再起動を行ってください。本製品は、ダウンロード開始前の状態に戻ります。


---

### 3.10 Web 設定画面

- 「無線」画面の「ステータス」ラジオボタンを「オン」→「オフ」→「オン」のように変えると、初期状態ではグレイアウトしていた「ブロードキャスト/マルチキャスト速度制限」の「速度制限」と「バースト時の速度制限」の入力フィールドが入力可能な状態に変わります。

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「無線」](#)

- 「イベント」画面の「ログのリレー」チェックボックスを有効にした後で無効にすると、入力可能だった「リレーホスト」と「リレーポート」フィールドがグレイアウトします。これらのフィールドに値を入力するときは、「ログのリレー」チェックボックスを有効にした状態で行ってください。

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「ステータス」](#) / [「イベント」](#)

## 4 マニュアルの補足

---

ユーザーマニュアル (613-001072 Rev.A) の補足事項です。

### 4.1 IEEE 802.3af 準拠の機器による電源の供給


 「ユーザーマニュアル」 / 「設置と接続」 / 「電源の接続」 /

「IEEE 802.3af 準拠の機器による電源の供給」



給電中のポートからケーブルを抜いた直後は電圧がかかっているため、ケーブルを抜き差しするなどして機器を接続しなおす場合は、2、3 秒間をあげてください。再接続の間隔が極端に短いと本製品や接続機器の故障の原因となる恐れがあります。

### 4.2 ブロードキャスト／マルチキャスト速度制限

 「ユーザーマニュアル」 / 「本製品の設定」 / 「詳細設定」 / 「無線」

「無線」画面の「ブロードキャスト／マルチキャスト速度制限」の設定は、無線クライアントとの通信にのみ有効で、WDS 間の通信には適用されません。

## 5 ユーザーマニュアルについて

---

最新のユーザーマニュアル (613-001072 Rev.A) は弊社ホームページに掲載されています。本リリースノートは、上記のユーザーマニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのユーザーマニュアルが上記のものでない場合は、弊社ホームページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>